山形科学薬品株式会社

2022年度
環境経営レポート

2022年4月～2023年3月

発行日：2023年4月28日

関東化学グループ

～　目　次　～

１．経営理念・経営方針・環境経営方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・ｐ１

２．組織の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ｐ２

　２－１．事業者名及び代表者氏名

　２－２．事業所所在地

　２－３．環境管理責任者及び担当者連絡先

　２－４．創業（設立）年月日

　２－５．資本金

　２－６．認証・登録範囲

　２－７．事業の規模

３．環境経営目標とその実績・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ｐ３～９

　３－１．環境負荷の現状（2022年度環境負荷自己チェック結果より）

　３－２．環境経営目標（単年度・中長期）

　３－３．環境経営目標達成状況ならびに評価

４．環境経営計画と取組結果並びに次年度の取組内容・・・・・・・・・・ｐ９

５．環境関連法規等の遵守状況，訴訟等の有無・・・・・・・・・・・・・ｐ１０

　５－１．適用となる環境関連法規等とその遵守状況

　５－２．法令違反・訴訟等の有無

６．代表者による見直しの結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ｐ１１

＜本社＞

＜米沢営業所＞

＜庄内営業所＞

1．経営理念・経営方針・環境経営方針

経営理念

- 市場の要求するすべての事項に対応できる総合的な社内体制の構築
- 誠意ある行動を通して顧客との信頼関係の向上
- 取引先情報の伝達の迅速化による，メーカーとの信頼関係の向上
- 商社活動を通して社員のレベルアップと福利厚生の拡充

経営方針

- 東北地域の専門商社として自立独立を基本とし，メーカーとの融和を基調として顧客及び地区社会へ還元できる企業確立を目標とする。
- 社内改新を念頭に置き強靭な社内体制の構築を追及し，活力のある企業として業界のリーダーを目指す。

環境経営方針

＜環境理念＞

山形科学薬品株式会社は，化学薬品，科学機器等の総合商社として社会の発展に貢献することを踏まえ，環境保全への取り組みが重要であることを認識し，商社活動を通して，自然環境との調和を目指し，以下の活動方針を推進します。

＜行動指針＞

1. 営業，受注，発注・入荷，保管，輸送及び納品に至る販売活動を通して，省資源，省エネルギー，廃棄物の削減及び安全の確保を推進します。
2. 環境負荷の低減，並びに環境汚染の予防につながる商品の販売促進及び情報提供に努めます。
3. 当社に適用される環境関連法規等を順守します。
4. 業務のムリ・ムダ・ムラを改善し，効率の良い販売活動を行います。
5. 環境マネジメントシステムを定期的に見直し，有効性の向上に努めます。
6. 環境活動レポートを定期的に発行し，積極的に環境情報の公開を行います。

制定日：2022年4月1日

代表取締役　髙橋　洋行

２．組織の概要

２－１．事業者名及び代表者氏名

■ 山形科学薬品株式会社　　■ 代表取締役　髙橋　洋行

２－２．事業所所在地

■ 本　　社：〒990-2251　山形市立谷川 2-449-5
TEL023-685-6310　FAX023-685-6320

■ 米沢営業所：〒992-0011　山形県米沢市中田町 1218
TEL0238-37-4155　FAX0238-37-2046

■ 庄内営業所：〒997-1132　山形県鶴岡市栃谷字天保恵 65-13
TEL0235-38-1070　FAX0235-38-1072

２－３．環境管理責任者及び担当者連絡先

■ 環境管理責任者　：営業部部長　平野　浩和

■ 環境管理副責任者：管理部係長　山口　大介

■ 環境管理担当者　：本社　本間喬士　　米沢　植村泰仁　　庄内　佐藤大樹

■ 連絡担当者　　：環境事務局　　日塔美紀子

■ URL：http://www.ymgt-chemical.co.jp/　■ Email：info@ymgt-chemical.co.jp

２－４．創業（設立）年月日

■ １９７１年（昭和４６年）５月２０日

２－５．資本金

■ １，０００万円

２－６．認証・登録範囲

１）対象サイト：全事業所（本社・米沢営業所・庄内営業所）

２）事業活動：全活動

試験研究用薬品，電子工業用薬品，化学工業用薬品，高純度化学薬品，
理化学器械・理化学機材の販売

２－７．事業の規模

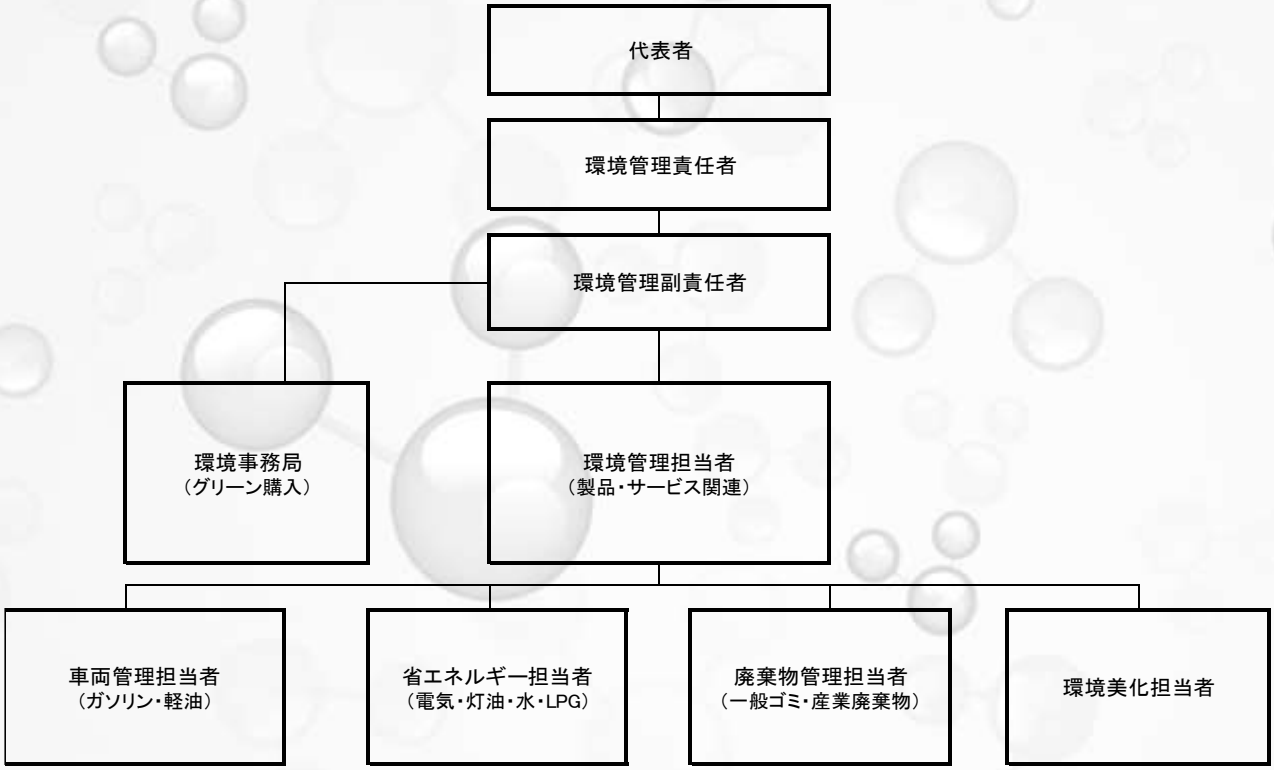
事業規模＼事業年度		2020年度（R02.4～R03.3）	2021年度（R03.4～R04.3）	2022年度（R04.4～R05.3）
売上高（千円）		2,780,000	2,975,000	3,120,000
従業員数	全　社	27	26	27
	本　社	14	15	16
	米沢営業所	7	6	6
	庄内営業所	6	5	5
延床面積（倉庫）	本　社	557m²（610m²）		
	米沢営業所	113.73m²（457.28m²）		
	庄内営業所	110.04m²（301.91m²）		

注）従業員数は，各年度4月１日時点での在籍者です。

山形科学薬品株式会社　エコアクション21実施体制

■作成者：山口　大介
■制定日：2017年4月1日
■最終改訂日：2021年8月1日

＜EA21推進委員会＞



	役割・責任・権限
代表者（社長）	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 ・実施体制を構築する ・環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境目標・環境活動計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直し・指示を実施 ・環境活動レポートの承認 ・経営における課題とチャンスを整理し、明確にする
環境管理責任者	・環境経営システムの承認 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境目標・環境活動計画書の承認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告
環境管理副責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境管理責任者の補佐 ・EA21推進委員会の事務局 ・環境関連法規等の取りまとめ ・環境目標・環境活動計画書の作成 ・環境活動レポートの作成・発行
環境事務局	・EA21推進委員会の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口
部門責任者 ■製品・サービス関連 ■車両管理 ■省エネルギー ■廃棄物管理 ■環境美化	・関連する環境目標ならびに環境活動計画の設定ならびに改訂の提案 ・環境活動計画の取組状況の監視ならびに指導 ・環境目標の達成状況に応じた是正策予防策の提案と実施または目標の見直しの具申 ・環境負荷削減につながる改善提案ならびに情報収集 ・取組に必要な手順書・マニュアル等の整備 ・取組に必要な環境教育の企画と実施 ・その他、担当部門の目標達成に必要な事項
全従業員	・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

3. 環境経営目標とその実績

3－1. 環境負荷の現状（2022年度環境負荷自己チェック結果より）

■ 二酸化炭素排出量

※電力使用に係る二酸化炭素排出係数については，2021年度東北電力（調整後：0.496）を用いています。

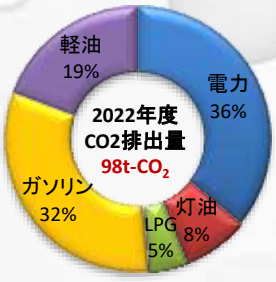
1）当社における2022年度（2022.4～2023.3）の二酸化炭素排出量は、合計98t（本社：51t、米沢：24t、庄内：23t）となっており、一般家庭約22軒分の排出量に相当していました。（図1参照）前年比で10%減（本社：11%減、米沢：8.7%減、庄内11%減）となっていました。
（2021年度1世帯あたりの平均年間排出量は3,733kg-CO2／出典：温室効果ガスインベントリオフィス）

2）2022年度当社から排出された二酸化炭素の36%（35t）が電力使用に伴うもので、残り64%（63t）は化石燃料の使用に伴うものでした。 化石燃料の内訳は、ガソリンが全体の32%（31t）を占め、以下、軽油19%（19t）、灯油8.0%（8t）などとなっていました。（図1参照）

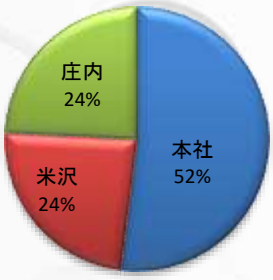
3）エリア別の排出量では、全体の52%が本社、米沢24%、庄内24%となっていました。それぞれの発生源割合は、本社（ガソリン36%、電力28%、軽油20%）、米沢（ガソリン33%、電力24%）、庄内（電力67%、ガソリン23%）となっており、それぞれの状況によって、割合は大きく異なっていました。（図2＆図3参照）

4）月別の排出量を見ると本社では、暖房時の12～3月にかけてピークが表れています。この期間、電力とLPGの消費が増加しています。LPGは冷房期にも増加しています。米沢は冬期間の電力と灯油の増加が顕著です。山形・米沢ともに軽油は年間を通じてあまり変動はありません。庄内は、やはり冬期間において、電力、灯油の使用量が増加する傾向があります。（図4～6参照）

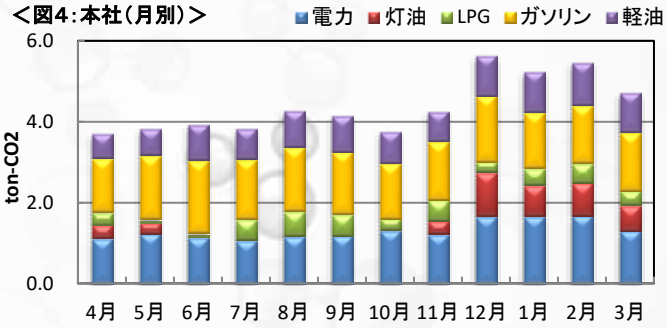
＜図1：二酸化炭素排出源＞



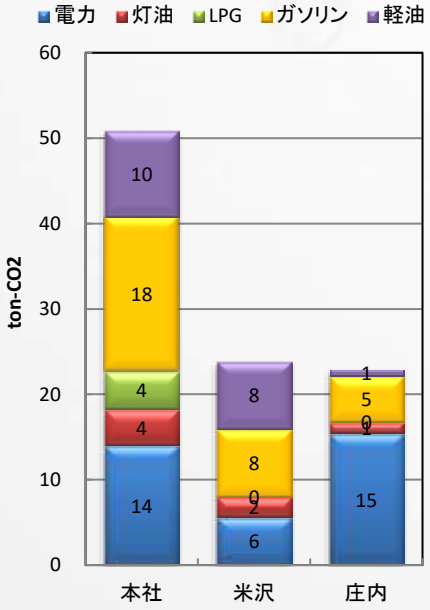
＜図2：エリア別排出割合＞



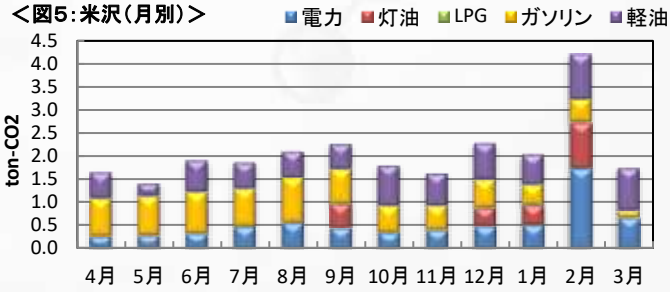
＜図4：本社（月別）＞



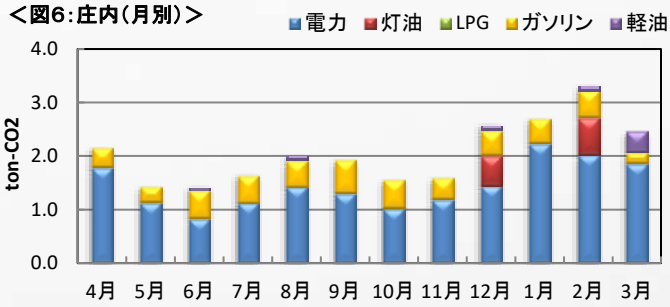
＜図3：エリア別CO2排出源＞



＜図5：米沢（月別）＞



＜図6：庄内（月別）＞



■ 一般廃棄物

1）2022年度において、本社7,449kg（昨年比-6.6%）、米沢6,971kg（-25%）、庄内3,690kg（+26.3%）を排出しました。

2）その種類は、本社においては、紙類（段ボール等）97%、可燃ゴミ2.9%となっていました。米沢は、紙類（段ボール等）84%、可燃ゴ16%、庄内は、紙類（段ボール等）80%、可燃ゴミ20%となっていました。なお、紙類はすべてリサイクルとなっており、可燃ごみは、焼却処理となります。

3）リサイクル率は、本社97%、米沢84%、庄内81%となっていました。

■産業廃棄物

本社では総量470kg，同じく米沢5,950kg排出し、庄内241kg排出でした。ほとんど梱包材など廃プラスチック類となっており，本社470kg，米沢5,950kg，庄内241kgとなっており，すべてリサイクルされています。

■ 総排水量（水使用量）

上水使用量は、全社合計で158m3（昨年比-1.6%）、ドラム缶（200L）で換算すると790本分に相当していました。内訳は、本社86m3（+0.6%）、米沢31m3（±0%）、庄内41m3（-6.8%）で、米沢では、上水の他、駐車場の消雪用に冬期間地下水を14,120m3汲み上げ散水しています。大雪の影響で増加しました。

■ 化学物質使用量（購入量）

PRTR対象化学物質が含有される薬品類の使用はありません。

３－２．環境経営目標（中長期・単年度）

環境経営方針との整合性を図りながら，環境負荷の自己チェックの結果を踏まえ，７項目（二酸化炭素，廃棄物，水，グリーン購入，製品・サービス関連，山形エコアクション21対応項目）について，下記のとおり環境経営目標（5年間の中長期目標&単年度目標）を策定しました。

環境目標項目			サイト	中長期 環境目標（期間：2022-2026年度）		2022年度 環境目標（2022年4月～2023年3月）	
				基準年	環境目標の内容	基準年	環境目標の内容
二酸化炭素排出量	電力使用 ※2021度東北電力		本社	2021	基準年度CO2排出量から5%削減	2021	基準年度CO2排出量から1%削減
			米沢	2021	基準年度CO2排出量から5%削減	2021	基準年度CO2排出量から1%削減
			庄内	2021	基準年度CO2排出量から5%削減	2021	基準年度CO2排出量から1%削減
	化石燃料	ガソリン	本社	2021	基準年度CO2排出量から5%削減	2021	基準年度CO2排出量から1%削減
			米沢	2021	基準年度CO2排出量から5%削減	2021	基準年度CO2排出量から1%削減
			庄内	2021	基準年度CO2排出量から5%削減	2021	基準年度CO2排出量から1%削減
		軽　油	本社	2021	基準年度CO2排出量から5%削減	2021	基準年度CO2排出量から1%削減
			米沢	2021	基準年度CO2排出量から5%削減	2021	基準年度CO2排出量から1%削減
			庄内	2021	基準年度CO2排出量から5%削減	2021	基準年度CO2排出量から1%削減
		灯　油	本社	2021	基準年度CO2排出量から5%削減	2021	基準年度CO2排出量から1%削減
			米沢	2021	基準年度CO2排出量から5%削減	2021	基準年度CO2排出量から1%削減
			庄内	2021	基準年度CO2排出量から5%削減	2021	基準年度CO2排出量から1%削減
		LPG	本社	2021	基準年度CO2排出量から5%削減	2021	基準年度CO2排出量から1%削減
			米沢	2021	基準年度CO2排出量から5%削減	2021	基準年度CO2排出量から1%削減
			庄内	2021	基準年度CO2排出量から5%削減	2021	基準年度CO2排出量から1%削減
廃棄物排出量	一般廃棄物		本社	2021	基準年度排出量から10%削減 リサイクル率95%以上	2021	基準年度排出量から2%削減 リサイクル率95%以上
			米沢	2021	基準年度排出量から10%削減 リサイクル率90%以上	2021	基準年度排出量から2%削減 リサイクル率90%以上
			庄内	2021	基準年度排出量から10%削減 リサイクル各年度目標設定	2021	基準年度排出量から2%削減 リサイクル率75%以上
	産業廃棄物		本社	2021	基準年度排出量から10%削減	2021	基準年度排出量から2%削減
			米沢	2021	基準年度排出量から10%削減	2021	基準年度排出量から2%削減
			庄内	2021	基準年度排出量から10%削減	2021	基準年度排出量から2%削減
水使用量	上　水		本社	2021	基準年度使用量から5%削減	2021	基準年度使用量から1%削減
			米沢	2021	基準年度使用量から5%削減	2021	基準年度使用量から1%削減
			庄内	2021	基準年度使用量から5%削減	2021	基準年度使用量から1%削減
	地下水		米沢	2021	地下水適正のための手順書の順守	2021	地下水適正のための手順書の順守

環境目標項目		サイト	中長期 環境目標（期間：2022-2026年度）		2022年度 環境目標（2022年4月～2023年3月）	
			基準年	環境目標の内容	基準年	環境目標の内容
グリーン購入	事務用品	全社共通	－	都度設定	－	グリーン購入20%以上
	車両・設備・機械等	全社共通	－	社内ルールの定着化	－	社内ルールの確立
製品サービス関連	環境配慮商品の販売	全社共通	－	各年度ごと目標設定	－	冷却水循環装置の販売 （水使用量の削減） 各営業所2台
業務改善	業務改善	全社共通	－	業務改善による作業効率化	－	担当ユーザー見直し
訓練教育	訓練・教育	全社共通	－	緊急訓練及び教育訓練	－	緊急訓練及び教育訓練

３－３．２０２２年度環境経営目標達成状況ならびに評価

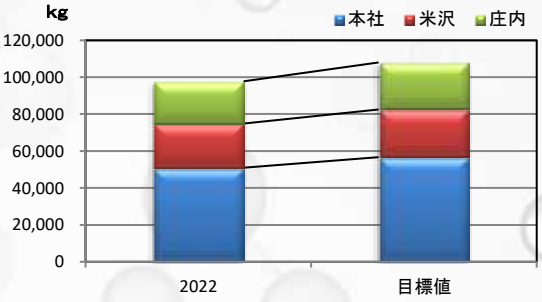
■　二酸化炭素排出量（総　合）

		本社	米沢	庄内	総合
基準年度実績値〔kg〕		57,205	26,161	25,643	109,008
2022 年度目標	削減率	2.0%	2.0%	2.0%	2.0%
	目標値〔kg-CO_2〕	56,060	25,638	25,130	106,828
2022年度実績		50,910	23,889	22,939	97,738
削減率　※「－」は増加を示す		11.0%	8.7%	10.5%	10.3%
評価（○…達成，×…未達）		○	○	○	○

【評価コメント】

本社11.0%減，米沢8.7%減，庄内10.5%減と全社で目標達成できました。

＜二酸化炭素排出量:総合＞



■　二酸化炭素排出量（電　力）

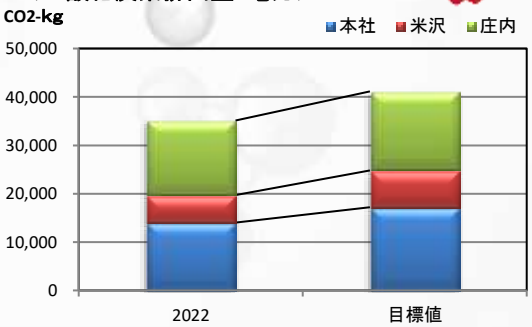
		本社	米沢	庄内	総合
基準年度実績値〔kg-CO_2〕		17,363	7,741	16,443	41,547
2022 年度目標	削減率	1.0%	1.0%	1.0%	1.0%
	目標値〔kg-CO_2〕	17,189	7,664	16,279	41,132
2022年度実績		14,030	5,668	15,452	35,151
削減率　※「－」は増加を示す		19.2%	26.8%	6.0%	15.4%
評価（○…達成，×…未達）		○	○	○	○

【評価コメント】

本社19.2%減，米沢26.8%減，庄内6.0%減と全社で目標達成できました。

LED照明切替により削減に繋がりました。

＜二酸化炭素排出量:電力＞



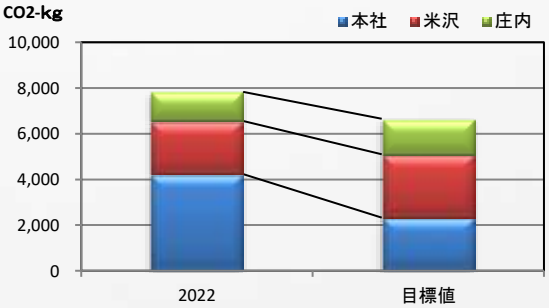
■　二酸化炭素排出量（灯油）

		本社	米沢	庄内	総合
基準年度実績値〔kg-CO_2〕		2,357	2,791	1,568	6,716
2022 年度目標	削減率	1.0%	1.0%	1.0%	1.0%
	目標値〔kg-CO_2〕	2,334	2,763	1,553	6,649
2022年度実績		4,236	2,325	1,275	7,835
削減率　※「－」は増加を示す		−79.7%	16.7%	18.7%	−16.7%
評価（○…達成，×…未達）		×	○	○	×

【評価コメント】

本社79.7%増，米沢16.7%減，庄内18.7%減でした。本社で冬場灯油ヒーターを使用するようになり大幅に増加となりました。

＜二酸化炭素排出量:灯油＞



■ 二酸化炭素排出量（ＬＰＧ）

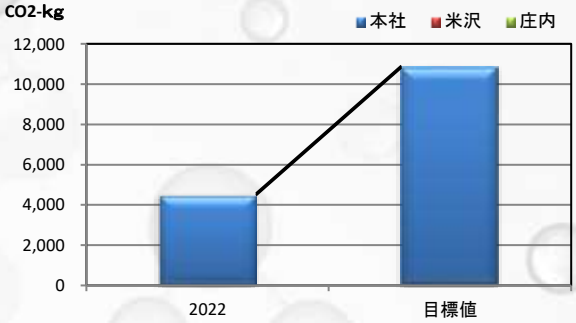
		本社	米沢	庄内	総合
基準年度実績値〔kg-CO_2〕		10,914	42	68	11,024
2022 年度目標	削減率	1.0%	1.0%	1.0%	1.0%
	目標値〔kg-CO_2〕	10,805	41	68	10,913
2022年度実績		4,460	52	61	4,574
削減率　※「－」は増加を示す		59.1%	−25.4%	10.0%	58.5%
評価（○…達成，×…未達）		○	×	○	○

よくできました！

【評価コメント】

本社59.1%減，米沢25.4%増，庄内10.0%減と本社、庄内は目標達成できました。本社で灯油ヒーターの使用により、冬場は空調エアコンが使用しなくなりLPG排出量の削減に繋がりました。

＜二酸化炭素排出量:LPG＞



■ 二酸化炭素排出量（ガソリン）

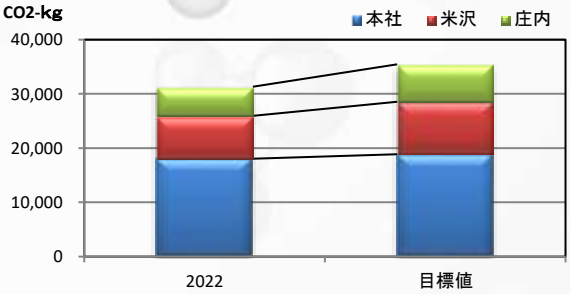
		本社	米沢	庄内	総合
基準年度実績値〔kg-CO_2〕		19,093	9,767	6,927	35,787
2022 年度目標	削減率	1.0%	1.0%	1.0%	1.0%
	目標値〔kg-CO_2〕	18,902	9,669	6,858	35,429
2022年度実績		18,070	7,887	5,363	31,319
削減率　※「－」は増加を示す		5.4%	19.3%	22.6%	12.5%
評価（○…達成，×…未達）		○	○	○	○

たいへんよくできました！

【評価コメント】

本社5.4%減，米沢19.3%減，庄内は22.6%減と全社で目標達成できました。担当ユーザー見直しによる走行距離の減少が排出量削減に繋がりました。

＜二酸化炭素排出量:ガソリン＞



■ 二酸化炭素排出量（軽油）

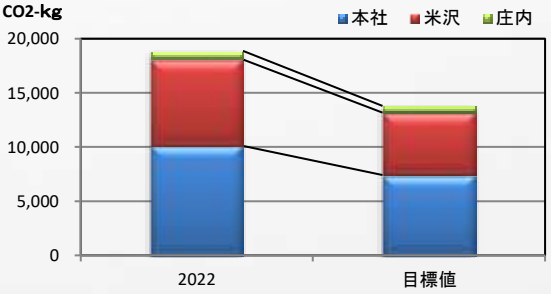
		本社	米沢	庄内	総合
基準年度実績値〔kg-CO_2〕		7,477	5,821	636	13,934
2022 年度目標	削減率	1.0%	1.0%	1.0%	1.0%
	目標値〔kg-CO_2〕	7,403	5,762	630	13,794
2022年度実績		10,114	7,957	788	18,859
削減率　※「－」は増加を示す		−35.3%	−36.7%	−24.0%	−35.3%
評価（○…達成，×…未達）		×	×	×	×

がんばりましょう

【評価コメント】

全社で目標未達の結果となりました。担当ユーザー見直しで配送員の納入が増えトラックで使用している軽油の使用量が増加しました。

＜二酸化炭素排出量:軽油＞



■ 一般廃棄物排出量

排出量		本社	米沢	庄内	総合
基準年度実績値〔kg〕		7,977	9,278	2,922	20,176
2022 年度目標	削減率	2.0%	2.0%	2.0%	2.0%
	目標値〔kg-CO_2〕	7,817	9,092	2,863	19,773
2022年度実績		7,449	6,971	3,690	18,110
削減率 ※「－」は増加を示す		6.6%	24.9%	−26.3%	10.2%
評価（○…達成，×…未達）		○	○	×	○

リサイクル率	本社	米沢	庄内	総合
2022年度目標	95%	90%	75%	—
2022年度実績	97%	84%	80%	—
評価（○…達成，×…未達）	○	×	○	—

【評価コメント】

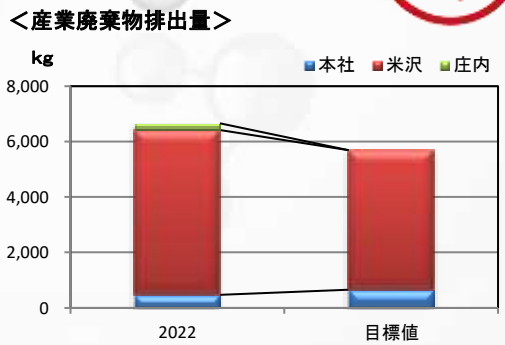
本社6.6%減，米沢25%減，庄内26.3%増と本社、米沢で目標達成できました。リサイクル率は本社，庄内で目標達成。ダンボールやカタログ等まとめて廃棄したのが要因と思われます。

■ 産業廃棄物排出量

		本社	米沢	庄内	総合
基準年度実績値〔kg〕		670	5,138	0	5,808
2022 年度目標	削減率	2.0%	2.0%	2.0%	2.0%
	目標値〔kg-CO_2〕	657	5,035	0	5,692
2022年度実績		470	5,950	241	6,661
削減率 ※「－」は増加を示す		29.9%	−15.8%	—	−14.7%
評価（○…達成，×…未達）		○	×	×	×

【評価コメント】

本社30%減少，米沢16%増加，庄内は実績なしでした。

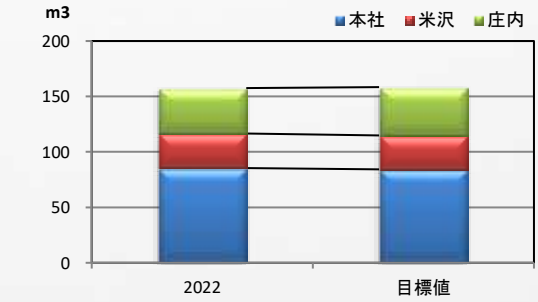


■ 水使用量

		本社	米沢	庄内	総合
基準年度実績値〔m3〕		85	31	44	160
2022 年度目標	削減率	1.0%	1.0%	1.0%	1.0%
	目標値〔kg-CO_2〕	84	31	44	158
2022年度実績		86	31	41	158
削減率 ※「－」は増加を示す		−0.6%	0.0%	6.8%	1.6%
評価（○…達成，×…未達）		×	×	○	○

【評価コメント】

本社0.6%増，米沢増減なし，庄内6.8%減と庄内で目標を達成できました。生活用水が主な用途となっておることから，社員の節水への意識の向上が要因と思われます。



■ 化学物質使用量（PRTR対象物質）

自ら使用する化学物質はありませんが，試薬を中心にPRTR対象物質該当物質を多く販売しております。SDS情報に留意しつつ，保管中，運搬中の漏えい事故の防止に万全を尽くします。

薬品運搬時の漏えい事故に備え，運搬時は必ずイエローカードを携行しています。

■ グリーン購入

	本社	米沢	庄内	総合
2022年度目標	20%	20%	20%	20%
2022年度実績	69%	16%	76%	43%
評価（○…達成，×…未達）	○	×	○	○

本社、庄内で目標達成できました。購入前にGPN対象品かどうかを確認してから購入し来年度も達成を目指します。

■ 業務改善

【2022年度目標】担当ユーザー見直し

担当ユーザー見直しにより、営業や納品での走行距離が減少しガソリン排出量削減に繋がりました。来年度も同じく目標設定します。

■　製品・サービスの環境負荷削減に係る環境経営目標

環境配慮製品の販売…冷却水循環装置（各営業所2台）

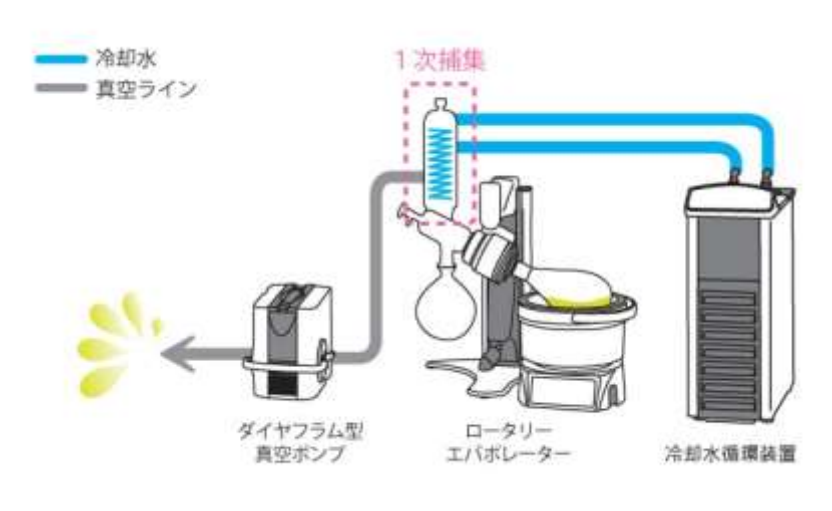
冷却水循環装置とは

水（低温熱媒体）を循環させて目的の試料や装置（装置の一部）を冷却または加熱、温度制御する装置の総称です。

◆メリット

【節水・経費対策に】

内臓タンクの冷却水を循環させるので、排水を出さない（たれ流ししない）構造になっており、水の使用量削減につながります。



今年度は庄内営業所で１台販売しました。目標には達しなかったため、来年度も同じく目標設定し達成を目指します。

4．環境経営計画と取組結果並びに次年度の取組内容

＜評価判定の目安＞
○…実施済。80%以上の社員が取組んでいる。80点以上の満足度である。
△…一部未実施。50～80%の社員が取組んでいる。50～80点ぐらいの満足度である。
×…未実施。50%未満の社員しか取組んでいない。50点未満の満足度である。（是正処置の対象）
※○△×…左から順に「本社・米沢・庄内」の評価

環境目標	活動・取組項目	活動の具体的内容（どのように）	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	備　考
二酸化炭素排出量の削減	■消費電力の削減	■室温は、暖房期20℃、冷房期28℃で管理	○○○	○○○	○○○	○○○	暖冷房期間対象
		■サーキュレーターを稼働させ、室内温度差をなくす	○○○	○○○	○○○	○○○	暖冷房期間対象
		■使用していない部屋のエアコンはOFF	○○○	○○○	○○○	○○○	暖冷房期間対象
		■定期的にエアコンのフィルターを清掃	○○○	―――	○○○	―――	稼働期間中毎月
		■不要な照明は消灯	○○○	○○○	○○○	○○○	
		■クールビズの推進（機能性下着の着用）	○○○	○○○	○○○	―――	
		■ウォームビズの推進（保温性の高い下着の着用）	―――	―――	―――	―――	
		■パソコンは省エネモードで使用	○○○	○○○	○○○	○○○	
		■トイレの暖房便座は夏期OFF（温水の温度設定は「低」）	―――	○○○	―――	―――	
		■窓にすだれを垂らし、直射日光を防ぐ	―――	――○	―――	―――	夏季
		■電力モニターの導入検討（電力使用量の見える化推進）	―――	―――	―――	―――	
		■省エネ性能の高いエアコンへの入れ替え検討	―――	―――	―――	―――	中長期計画
		■融雪装置適正利用手順書の策定	―――	―――	―○―	―○―	
	■ガソリン・軽油使用量の削減	■安全運転・エコドライブの強化週間	○○○	―――	○○○	―――	
		■燃費・走行距離の把握（車両日報の記入）	○○○	○○○	○○○	○○○	
		■5000km（6ヶ月）ごとにオイル交換、10000km（1年）ごとにエレメント交換（ハイブリッド車は別途規定する）	○○○	○○○	○○○	○○○	
		■適切な時期でのタイヤ交換	○○○	―――	○○○	―――	
		■適切な空気圧の維持	○○○	○○○	○○○	○○○	
		■エコタイヤの導入	○○○	○○○	○○○	○○○	
		■不要な荷物を乗せたままにしない	○○○	○○○	○○○	○○○	
		■業務の効率化（車両運行ルートの管理）	○○○	○○○	○○○	○○○	
		■計画的な低燃費車両への入れ替え	―――	―――	―――	―――	
	■その他化石燃料の削減（灯油・LPG）	■暖房温度は決められた温度以下で管理する。	―――	―――	―――	―――	冬期間
		■事務員を対象に足元スポット暖房（保温対策等）の導入	―――	―――	―――	―――	
		■ウオームビズの徹底（服装による省エネ推進）	―――	―――	―――	―――	
		■必要最低限の温度で給湯（夏期は使用しない）	―――	―――	―――	―――	
		■窓を二重サッシにする	―――	―――	―――	―――	
廃棄物排出量の削減と適正管理	■一般廃棄物の削減（リサイクルの推進）	■分別のルールの確立と周知徹底	○○○	○○○	○○○	○○○	
		■廃棄物置場の整理整頓	○○○	○○○	○○○	○○○	
		■電子カタログの推進	○○○	○○○	○○○	○○○	
		■適正部数で送付してもらう。不要なカタログ等の返却等	○○○	○○○	○○○	○○○	
		■コピー用紙削減（両面コピー・裏紙利用の徹底）	○○○	○○○	○○○	○○○	
		■一般廃棄物の排出量記録	○○○	○○○	○○○	○○○	
		■社内の整理整頓	○○○	○○○	○○○	○○○	
	■産業廃棄物の削減と適正管理	■保管場所の管理（安全衛生状態も含む）	○○○	○○○	○○○	○○○	
		■マニフェスト・契約書類の管理	○○○	○○○	○○○	○○○	
		■委託先の状況確認	―――	―――	―――	―――	
化学物質管理	■SDSの管理	■SDSの最新版管理	○○○	○○○	○○○	○○○	
	■情報の提供	■顧客への情報提供	○○○	○○○	○○○	○○○	
	■化学物質のリスクアセスメント	■保管・運搬に伴うリスクアセスメントの実施	○○○	○○○	○○○	○○○	
	■毒劇物管理	■在庫数・販売数の管理	○○○	○○○	○○○	○○○	
		■盗難防止（施錠管理）	○○○	○○○	○○○	○○○	
総排水量の削減	■水道使用量の削減	■「節水」強化週間を定め、朝礼等で周知を図る	―――	○○○	―――	―――	
		■蛇口元栓の調整（必要最小限の流水量）	○○○	○○○	○○○	○○○	
		■地下水の適正利用基準の策定と遵守	―○―	―○―	―○―	―○―	
		■その他節水対策機器に関する情報収集	△××	△×△	△××	△××	

環境目標	活動・取組項目	活動の具体的内容 （どのように）	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	
グリーン購入	■グリーン購入	■グリーン購入ネットワーク（GPN）認定商品（エコ商品）の選定	○○○	○○○	○○○	○○○	
		■事務消耗品のエコ商品購入率の把握	○○○	○○○	○○○	○○○	
		■車両・設備・機械等購入時のルール確立と実践	―――	―――	―――	―――	
製品サービス関連	■環境配慮商品の販売	■対象商品のリストアップ	○――	―――	―――	―――	
		■販促資料の準備	―――	―――	―――	―――	
業務改善	業務改善	担当ユーザー見直し	○―○	―――	―――	―○―	
訓練・教育	■緊急訓練及び教育訓練	■火災・漏洩等の緊急訓練及びエコアクションに関する教育を実	―――	―――	○○○	―――	

＜次年度以降の取組の概要＞

LED照明の切り替えや暖房設備の新規導入などにより各項目で排出量が変わってきているため、次年度は目標設定の見直しを行います。

５．環境関連法規等の遵守状況，訴訟等の有無

５－１．適用となる環境関連法規等とその遵守状況

行政からの環境関連法令違反の指摘・指導，環境面での訴訟は，創業以来ありません。

５－２．法令違反・訴訟等の有無

当社では，下記の環境関連法規等が適用されますが，2022年4月14日付でその遵守状況を確認した結果，いずれも問題ないことを確認しています。

- 鶴岡市火災予防条例：少量危険物貯蔵所（灯油タンク）の届出⇒問題なし
- 廃棄物処理法：保管場所への掲示板設置・マニフェスト実績報告の提出など⇒問題なし
  ※廃蛍光灯など水銀使用製品産業廃棄物の保管処理方法について周知対応しました。
- フロン排出抑制法：エアコン等の簡易点検の実施⇒問題なし
- 水質汚濁防止法（貯油施設）：事故発生時の届出等⇒問題なし
- 下水道法：事故発生時の届出等⇒問題なし
- 毒物劇物取締法…盗難防止対策，在庫の確認等⇒問題なし
- 自動車リサイクル法：該当なし
- 家電リサイクル法：該当なし

6．代表者による見直しの結果

エコアクション21の取組年度の結果を総括したレポートを更新しました。当社における環境負荷の現状，環境経営目標とその達成状況，環境活動の内容と取組状況など，1年間の取組の成果がコンパクトにまとめられています。

本年度は、LED照明切替による電力排出量削減や業務改善など環境配慮に向けた活動への取り組みは大いに評価したいと思います。環境経営レポートの作成は，ISO14001の要求事項にはない環境コミュニケーションを重視するエコアクション21独自の要求事項です。今後作成したレポートを社員教育や営業ツールとして大いに活用してもらいたいと思っています。

2023年4月21日

山形科学薬品株式会社

代表取締役　　髙橋　洋行

＜アクセス＞

【本社】

【米沢】

【庄内】

この環境活動レポートは，ご希望の方に差し上げています。
ご希望の方は，本社窓口でお申し出いただくか，下記にご連絡下さい。
また，弊社ＨＰ（http://www.ymgt-chemical.co.jp/），
エコアクション２１中央事務局のＨＰ（http://www.ea21.jp/）
でもご覧いただけます。

〒990-2251　山形市立谷川二丁目449番地5
TEL023-685-6310　FAX023-685-6320
Email：info@ymgt-chemical.co.jp